別記様式第４号（第４条関係）

公共建築物の整備の用に供する木材の生産に関する試験研究に係る認定書

番　　号

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律施行令第３条第２項の規定に基づき、下記の公共建築物の整備の用に供する木材の生産に関する試験研究は、同条第１項に規定する国有の試験研究施設を使用して行うことが当該試験研究を促進するため特に必要であると認定する。

年　　月　　日

農林水産大臣名　　印

記

1　公共建築物の整備の用に供する木材の生産に関する試験研究の概要

2　1の試験研究を行う者の住所並びに名称及び代表者の氏名（個人の場合は氏名）

（備考）

用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

○農林水産省令第五十二号

農林水産省設置法（平成十一年法律第九十八号）第九条第三項、第十一条第三項及び第二十条第二項の規定に基づき、並びに同法及び農林水産省組織令（平成十二年政令第二百五十三号）を実施するため、農林水産省組織規則の一部を改正する省令を次のように定める。

平成二十二年九月三十日　　農林水産大臣　鹿野　道彦

農林水産省組織規則の一部を改正する省令

農林水産省組織規則（平成十三年農林水産省令第一号）の一部を次のように改正する。

第一条の見出し及び同条第一項中「及び監査官」を「、監査官及び報道広報審査官」に改め、同条に次の一項を加える。

6　報道広報審査官は、報道関係者に対する広報についての審査及び連絡調整に関する事務を行う。

第九条の見出し中「行政情報調整官」の下に「、広報審査官」を加え、同条第一項中「行政情報調整官一人」の下に「、広報審査官一人」を加え、同条中第七項を第八項とし、第六項の次に次の一項を加える。

7　広報審査官は、広報についての審査及び連絡調整に関する事務（総務課の所掌に属するものを除く。）を行う。

第九条の二第一項中「二人」を「三人」に改める。

第十二条第一項中「四十四人」を「四十三人」に改める。

第二十二条の見出し中「食品産業専門官」の下に「、新事業創出専門官」を加え、同条第一項中「三人」の下に「、新事業創出専門官二人」を加え、同条第六項を第七項とし、同条第五項中「事項（」の下に「新たな事業の創出、」を加え、同項の次に次の一項を加える。

6　新事業創出専門官は、命を受けて、食品産業その他の農林水産省の所掌に係る事業における新たな事業の創出に関する専門の事項についての企画、連絡調整及び指導に関する事務を行う。

第二十九条の八第一項中「六人」を「五人」に改める。

第百条第一項中「横浜植物防疫所東京支所に統括植物検疫官二人を」の下に「、横浜植物防疫所羽田空港支所に統括植物検疫官一人を」を加える。

第二百七十条第一項中「及び国営」を「、国営」に改め、「施設の管理」の下に「及び国営の新請戸川農業水利事業」を加え、同条第二項中「五課」の下に「及び新請戸川農業水利事業建設所」を加え、同条中第七項を第八項とし、第四項から第六項までを一項ずつ繰り下げ、第三項の次に次の一項を加える。

4　新請戸川農業水利事業建設所は、新請戸川農業水利事業に係る工事に伴う土地、工作物その他の物件及び権利の買収及び補償に関する事務並びに工事の施行に関する事務をつかさどる。

第二百七十条の見出しを削り、同条の前に見出しとして「阿武隈土地改良調査管理事務所」を付し、同条の次に次の一条を加える。

第二百七十条の二　新請戸川農業水利事業建設所に、工事課を置く。

2　工事課は、新請戸川農業水利事業に係る工事に伴う土地、工作物その他の物件及び権利の買収及び補償に関する事務並びに工事の施行に関する事務をつかさどる。

第三百九十一条の見出し中「森林環境教育推進官」の下に「、国際森林減少対策調整官」を加え、同条第一項中「森林環境教育推進官一人」の下に「、国際森林減少対策調整官一人」を加え、同条中第十四項を第十五項とし、第十三項の次に次の一項を加える。

14　国際森林減少対策調整官は、国際的な森林減少防止対策に関する専門の事項についての企画及び連絡調整に関する事務を行う。

第五百三十八条の見出し中「及びまぐろ資源検査官」を「、まぐろ資源検査官及び捕鯨情報企画官」に改め、同条第一項中「及びまぐろ資源検査官五人」を「、まぐろ資源検査官五人及び捕鯨情報企画官一人」に改め、同条に次の一項を加える。

4　捕鯨情報企画官は、捕鯨に関する情報の提供に関する専門の事項についての企画及び連絡調整に関する事務を行う。

別表第一横浜植物防疫所成田支所羽田空港出張所の項を削り、同表横浜植物防疫所東京支所千葉出張所の項の次に次のように加える。

横浜植物防疫所羽田空港支所	東京都

別表第二動物検疫所成田支所羽田空港出張所の項中「動物検疫所成田支所羽田空港出張所」を「動物検疫所羽田空港支所」に改める。

附　則

この省令は、平成二十二年十月一日から施行する。

告　　示

○総務省告示第三百五十六号

県の境界にわたる村の境界の確定

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第九条の二第一項の規定により、熊本県球磨郡水上村と宮崎県東臼杵郡椎葉村との境界を次のとおり決定し、これが確定した旨、同条第五項の規定に基づき、熊本県知事から届出があったので、同条第六項において準用する第九条第六項の規定に基づき告示する。

平成二十二年九月三十日　　総務大臣　片山　善博

熊本県球磨郡水上村と宮崎県東臼杵郡椎葉村との境界は、次の各点を順次結んだ線とする。

1点　北緯三二度二一分〇一秒二六一八二、東経一三一度〇五分三九秒一三三一四
2点　北緯三二度二一分〇一秒三四〇六九、東経一三一度〇五分三九秒一二三六九
3点　北緯三二度二一分〇一秒五三八七八、東経一三一度〇五分三九秒一五七一七
4点　北緯三二度二一分〇一秒五八一三七、東経一三一度〇五分三九秒二〇五〇七
5点　北緯三二度二一分〇一秒七二六六八、東経一三一度〇五分三九秒四四〇九八
6点　北緯三二度二一分〇一秒七九六八九、東経一三一度〇五分三九秒五四六八一
7点　北緯三二度二一分〇一秒七九四一七、東経一三一度〇五分三九秒五八八三〇
8点　北緯三二度二一分〇一秒七三七五四、東経一三一度〇五分三九秒九四二五〇
9点　北緯三二度二一分〇一秒六六三三二、東経一三一度〇五分四〇秒二四三八九
10点　北緯三二度二一分〇一秒六六六〇五、東経一三一度〇五分四〇秒三二八九九
11点　北緯三二度二一分〇一秒七三〇七二、東経一三一度〇五分四〇秒五五〇一〇
12点　北緯三二度二一分〇二秒〇二〇二一、東経一三一度〇五分四〇秒六六六八三
13点　北緯三二度二一分〇二秒三五二〇二、東経一三一度〇五分四〇秒九三二〇〇
14点　北緯三二度二一分〇二秒六九四八八、東経一三一度〇五分四一秒〇八一〇三
15点　北緯三二度二一分〇二秒九八四六二、東経一三一度〇五分四一秒二一四〇五
16点　北緯三二度二一分〇三秒〇六八五〇、東経一三一度〇五分四一秒二七八四七
17点　北緯三二度二一分〇三秒二〇五八七、東経一三一度〇五分四一秒四四二八二
18点　北緯三二度二一分〇三秒一四二〇〇、東経一三一度〇五分四一秒七一三二四
19点　北緯三二度二一分〇三秒一一九八〇、東経一三一度〇五分四二秒一三一九二
20点　北緯三二度二一分〇三秒一一二一一、東経一三一度〇五分四二秒二五六六八
21点　北緯三二度二一分〇三秒一四八二三、東経一三一度〇五分四二秒五三二七五
22点　北緯三二度二一分〇三秒二五五八八、東経一三一度〇五分四二秒八四七〇七
23点　北緯三二度二一分〇三秒一七四五四、東経一三一度〇五分四二秒九四七二〇
24点　北緯三二度二一分〇二秒九一一三八、東経一三一度〇五分四三秒九一五三三
25点　北緯三二度二一分〇二秒六五一五四、東経一三一度〇五分四四秒三四六二六
26点　北緯三二度二一分〇二秒三五一二二、東経一三一度〇五分四四秒九四九七七
27点　北緯三二度二一分〇二秒〇七二三二、東経一三一度〇五分四五秒四三六七九
28点　北緯三二度二一分〇一秒八八四八七、東経一三一度〇五分四五秒七九三三〇
29点　北緯三二度二一分〇一秒四三九五一、東経一三一度〇五分四六秒五三一七〇
30点　北緯三二度二一分〇一秒一七五七六、東経一三一度〇五分四六秒八五五八八
31点　北緯三二度二一分〇〇秒八九八二二、東経一三一度〇五分四七秒一七九七三
32点　北緯三二度二一分〇〇秒六七九六一、東経一三一度〇五分四七秒五七二七七
33点　北緯三二度二一分〇〇秒二六七七八、東経一三一度〇五分四八秒〇二四六九
34点　北緯三二度二〇分五九秒五九九六三、東経一三一度〇五分四八秒一五七二三
35点　北緯三二度二〇分五九秒二三六三三、東経一三一度〇五分四八秒七〇九九四
36点　北緯三二度二〇分五九秒〇一〇一九、東経一三一度〇五分四九秒〇〇六一二
37点　北緯三二度二〇分五八秒四九〇六〇、東経一三一度〇五分四八秒七七八五七
38点　北緯三二度二〇分五七秒四二九〇二、東経一三一度〇五分四八秒四五一三四